

松山まちなか瓦版

No. 14

発行 / 松山市中心市街地活性化協議会
■松山商工会議所 TEL 089(941)4111
■まちづくり松山 TEL 089(998)3533
発行日 / 2013年3月31日

松山市中心市街地活性化基本計画 次期計画策定に向けて始動

今年3月で期間満了を迎える「松山市中心市街地活性化基本計画」が更なる活性化をめざして次期計画の策定に向けて動きはじめました。



▲松山市中心市街地エリアの航空写真

現行計画の進捗状況は?

「松山市中心市街地活性化基本計画」は、平成20年11月11日付で内閣総理大臣の認定を受け、延べ79項目の事業を推進しています。

現行計画では、下記の3つの基本方針を掲げ、中央商店街における新たな商業施設の創出や、道後温泉や松山城などの歴史的・文化的観光資源を活用したまちなか観光交流人口の増加に向け取り組んできました。

基本方針

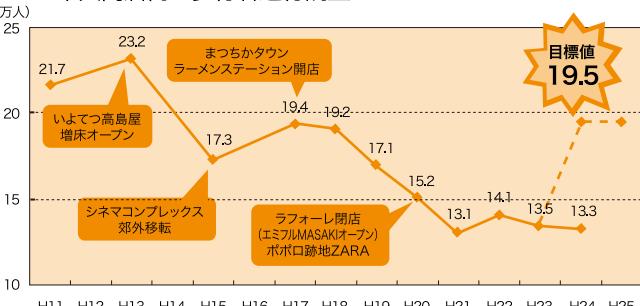
- ① 城下町ならではの賑わいのあるまち
- ② 「坂の上の雲」のまちづくりとまちなか回遊を活かした観光交流のまち
- ③ 便利で楽しい商業のまち

現行計画は平成25年3月で期間満了を迎えるため、次期計画策定に向け、平成26年7月まで計画期間を延長しています。

現行計画の事後評価は?

現行計画の主要事業は、一部で遅れが生じている事業もありますが、概ね計画通りに実施されています。一方、中心市街地活性化の目標の達成状況を把握するための指標となる数値目標を見てみると、観光面は、「坂の上の雲」のドラマ放映や高速道路無料化の影響もあって実績値が基準値(H19)を上回っていますが、その他の数値目標は、人口等の社会構造変化に伴う長期的な消費減少など、様々な構造的・政策的要因があいまって、いずれも厳しい数値となっているのが実情です。

■中央商店街の歩行者通行調査



次期計画の策定に向けて

次期計画における中心市街地活性化の基本方針は、現状における課題や対応に留まらず、松山市を取り巻く社会経済情勢の変化や中心市街地に期待される役割を踏まえて、以下のような幅広い視点から検討することが重要です。

- 松山の中心市街地は、愛媛県の県都、四国の中枢拠点として発展を遂げてきた地区であり、松山市のみならず、東温市、伊予市、松前町、砥部町など広域的な圏域の経済、社会的な中心でもある。
- 他の同規模の都市と比べ、松山市の中心市街地には人口や事業所、商業機能等がバランスよく集積している。
- 松山の中心市街地には、道後温泉のように、温泉観光地として名高い地区が都心からほど近くに存在しており、高次の都市機能と観光拠点の機能が共存している。
- 松山市では、中心市街地で人口が増加する一方、郊外で人口が減少し、中心部への人口の集約化が進行しつつある。

次期計画における基本方針と目標（案）

以上のような点をふまえ、次期基本計画では、以下の方針に基づく取り組みの推進を検討しています。

1. 広域の中心にふさわしい魅力と厚みのある機能を備えた都心への再生

目標 訪れたくなる都心としての機能強化

- 都心としての多様な機能の充実(訪れる人の幅を広げる)
- 都市全体のパブリックな場としての都心の役割拡大
- 産業・経済の駆動力としての都心の未来を支えるインキュベーション

2. 松山独自の歴史や資源によって国内外の人から愛される観光・交流の舞台づくり

目標 松山らしさを活かした都市型観光地としての魅力の向上

- 物語性のある地域資源をいかした都心観光の強化
- 道後の魅力をまち全体で感じられる環境づくり
- まちのファンを増やす観光まちづくり

3. 住みたい、住み続けたい魅力ある暮らしの場としての都心居住環境の形成

目標 安心して住み続けられる豊かな生活環境の実現

- 高齢者も安心して暮らせる環境づくり
- 地域特性にあわせたコミュニティの育つまちづくり
- 多様な住まい方の楽しみを享受できる都心居住の推進

まちなかレポート①

お城下パーキング 3.21オープン

中心商店街のすぐそば！松山二番町207台駐車場



▲収容台数は乗用車207台、自転車124台、ミニバイク75台。鉄筋5階建、延床面積約5,686平方メートル。



まちなかへのアクセス もっと便利に、もっと快適に！

休日になると二番町通りは、駐車場に入る車の列がずっと並んで…。普段、見かける松山のまちなかの風景ですが、今春、街の様子を変える施設「お城下パーキング2番町」(二番町3丁目)が完成しました。

事前精算機と車番認識システムを備え、駐車券を使わずスムーズな出庫が可能です。また、香川銀行松山支店の新店舗や24時間使用できる多目的トイレも併設されています。香川銀行とまちづくり松山が整備組合を設立し、市の優良建築物等整備事業の補助を受けて完成しました。中心部へのアクセス向上や商店街活性化が期待されています。

完成式典で、松山大街道商店街振興組合の日野理事長が「多くの人の思いがこもっている駐車場を中心に、街の発展を願いたい」、香川銀行の下村頭取が「地元の役に立つ事業に参加でき感謝したい」と祝辞を述べました。



▲関係者全員でテープカット



▲松山大街道商店街振興組合・日野理事長



▲香川銀行・下村頭取

まちなかレポート②

お城下スプリングフェスタ2013

お城下に春がやってきた!

県内のゆるキャラ大集合!

ファミリーで楽しめる賑やかイベント

3.18
～
24

開催!



▲大街道と銀天街をつなぐ千舟町通りの交差点はホコ天パークとなり、大勢の人で賑わいました。

桜の花も咲き始めた3月18日から24日、「お城下スプリングフェスタ2013」が開催されました。このイベントは、ファミリー層向けの賑わい創出イベントを実施することで中央商店街への来街を促し、さらにまちの中心部に滞留空間をつくることによって多くの人にまちなかを回遊していただこうとするもので、中央商店街とその周辺の若手経営者が実行委員会を立ち上げ企画運営したものです。

特に週末は、千舟町通りの一部を歩行者天国にした特設ステージイベント(24日)、「こびとづかんの大冒険!!」(23,24日)、「東京ローカルレストラン in Matsuyama」(24日)、「ゆるきゃらスタンプラリー」(24日)など、さまざまなプログラムが催され、初めての試みにもかかわらず、恒例の土曜夜市にも負けない賑わいと、多くの子供たちの楽しそうな笑顔を見ることができました。



▲ステージイベント



▲東京ローカルレストラン



▲愛媛FCによるキックターゲット

